

2026 年 9 月 10 日

国立印刷局の工芸官による特別講義を 9 / 1 8 （金）に開催

～ 日本銀行券と国立印刷局工芸官の技巧 ～

公立大学法人
長岡造形大学
Nagaoka Institute of Design



2026年9月18日（金）に、長岡造形大学（所在地：新潟県長岡市千秋4丁目197番地/学長：平山 育男）にて、国立印刷局の工芸官による特別講義を実施します。長岡造形大学における特別講義の開催は、初となります。

【開催詳細】

日 時：2026年9月18日（金）

11:15-12:00 習作作品の展示、見学

13:00-13:20 凹版彫刻実技の説明・実演（工芸官によるエングレーヴィングの実演）

13:20-15:30 凹版彫刻の実技指導（工芸官が学生にエングレーヴィングの実技指導）

受講対象：長岡造形大学 在学生、教職員

場 所：長岡造形大学（新潟県長岡市千秋4丁目197番地）

アクセス：JR長岡駅から路線バスで約10分

過去の特別講義の様子



国立印刷局より

独立行政法人国立印刷局は、日本銀行券の製造をはじめ、官報、パスポートなど国民生活に密着した製品を製造している組織です。当法人は、明治4年（1871年）に大蔵省紙幣司として創設され、国民の皆様からの「信頼」に支えられ、令和3年に創立150年を迎えました。国立印刷局には、「工芸官」と呼ばれる専門職員が在籍しており、国民経済に不可欠なインフラストラクチャーである日本銀行券やパスポート等のデザインや原版の製造を担っております。

国立印刷局が製造する日本銀行券などの原版作製では、現在も工芸官による手仕事の中核をなしており、ビュランという金属の細密彫刻に適した専用の彫刻刀が用いられます。このビュランを使いこなすには熟練を要し、長い年月と根気が必要とされます。この講義では、国立印刷局の工芸官がどの様に緻密な画線を彫り進めているかを知ることができます。

そして、令和4年度から国内の芸術系・美術系大学の学生を対象として、工芸官の高い技術と細密な彫刻を次世代に伝え継承すること、美術や芸術を学ぶ学生のキャリアプランの可能性や選択肢等を提供する機会として特別講義を実施してきております。令和7年度までに17大学、1専門学校及び1工芸高校において実施し、今回は、長岡造形大学にて、凹版彫刻に関する特別講義を開催させていただきます。

長岡造形大学 造形学部 美術・工芸学科長 中村和宏

このたび、独立行政法人 国立印刷局の皆様をお迎えし、特別講義を開催いただけることを大変光栄に思います。国立印刷局が手がける日本銀行券やパスポートなどには、高度な造形技術と長年受け継がれてきた職人の技が生かされています。なかでも工芸官による原版製作は、日本の美術工芸文化を支える優れた技術であり、芸術が社会の信頼を支える力となっていることを象徴しています。

本学で美術と工芸を学ぶ学生にとって、第一線で活躍する工芸官の皆様から直接学べることは大変貴重な機会です。デジタル化が進む時代だからこそ、手で実在に触れながら物づくりを行う価値や表現の可能性を改めて考え、美術と社会とのつながりを深く理解する契機になることを期待しています。

〈本件に関するお問い合わせ先〉

長岡造形大学 地域協創課

TEL：0258-21-3321

E-Mail：chiiki@nagaoka-id.ac.jp

国立印刷局広報官室

TEL：03-3587-4210

E-Mail：proffice@npb.go.jp